

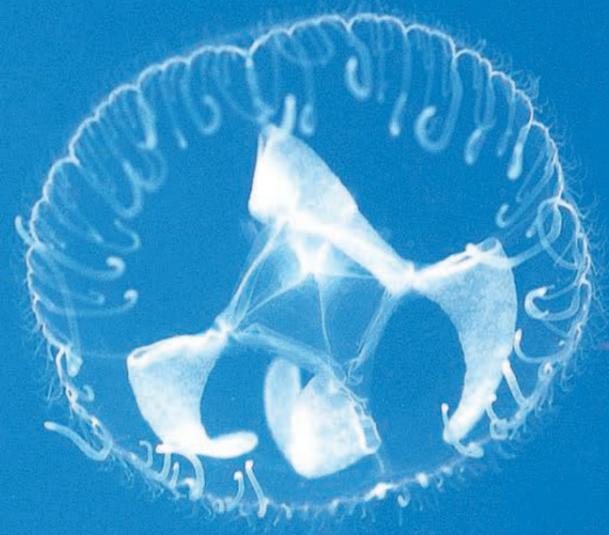
中野沼の自然遺産を

【特集】守れ!

ここ邑楽町の片隅に「中野沼」という沼があります。今なお故郷（ふるさと）の原風景が残るこの沼で最近、古くから住んでいる水生生物の営みを脅かす外来魚の増加が問題になっています。さらに、釣り禁止区域での釣りが後を絶ちません。豊富な自然とうらはらに、この沼には人間が引き起こす問題が渦巻いていたのです。

マミズクラゲ (群馬県絶滅危惧種)

マミズクラゲは、群馬県に生息している唯一の淡水クラゲです。大きくなったクラゲは、釣鐘型(つりがねがた)をしており、傘(かさ)の直径は5~20mmくらい、体は透明に近い白色で、傘の中央に4本の放射水管と管状水管があります。これまで前橋市、高崎市、安中市、館林市で記録されていますが、現在も継続して発生しているのは中野沼だけです。【群馬県の絶滅のおそれのある野生生物ハンドブック「動物編」(2002) 県環境生活部自然環境課編より】



中野沼は平成10年の調査で、生息する水生動物や植物が豊富で多様であることが判明しました。平成11年7月28日に「中野沼と水生動植物群」として、町指定天然記念物に指定されました。



↑多様な生物の宝庫になっている中野沼の西沼



↑町教育委員会は水質保護の目的で平成15年10月から西沼の魚釣りを全面的に禁止



中野沼(東西2か所の水面と両者をつなぐ水路)は、昭和54年11月から昭和61年3月にかけて行われた、*浚渫(しゅんせつ)埋立事業により、現在の姿となりました。
*浚渫(しゅんせつ)…水底をさらって土砂などを取り除くことです。

【中野沼・略地図】

沼は動植物の宝庫だった

中野沼が水生動植物の宝庫として認められたのは、平成10年のこと。貴重な動植物の生息が調査により判明。特に中野沼の西沼は、水質も極めて良く、生息する水生動物も多く、植物も貴重種・絶滅危惧種が多数存在し、群馬県の絶滅のおそれのある野生動植物として評価を得ているものも数多く生息していたのです。

息していたのです。そこで、町の教育委員会では、この貴重な動植物の保護をはじめとして、中野沼全体の自然環境を守っていくという観点から、平成11年に町指定文化財に「中野沼と水生動植物群」を登録しました。ところが、当時中野沼は絶好の釣り場として野釣りをする人が後を絶ちませんでした。このままでは、釣り餌やごみの不法投棄によ

interview ● 関根和伯さん(鷺新田) 沼の本当の価値を皆さんに知ってほしい



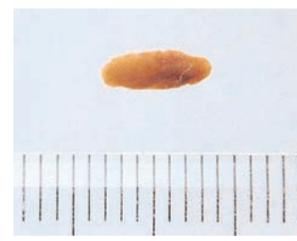
せきね・かずのり ●元町文化財保護調査委員。長年、中野沼の水生動物について調査研究に当たる。

地味ですが、とても貴重な存在

中野沼には貴重な水生生物のマミズクラゲ(県の絶滅危惧種に指定)やナミウズムシ(プラナリア)、ムネカクトビケラ(県の絶滅危惧種に指定)などの貴重種が存在していません。どれも水質がきれいではないと生息できません。

こうした水生生物の現存は中野沼の水質がよいことを示している証拠です。ことにマミズクラゲは天然湖の板倉町の行人沼や、合の谷で確認されていますが、いずれも再度の発生はありませんでした。中野沼で連続して確認されていることは、まれなことで県内でも類がありません。これらの生物の現存が、中野沼の豊かな自然環境を証明する指標になっているのです。

生態系崩壊の危機
外来魚の発生は、沼の生態系を崩壊の道へと進める原因



↑ナミウズムシ(プラナリア)



↑ムネカクトビケラ

ブラックバス(オオクチバス)は県内では1970年、73年頃から移入され、湖で多数確認されました。ブルーギルは、85年安中市で最初に確認されたのが県内で初です。

中野沼でも98年の調査でブラックバス(オオクチバス)とブルーギルが確認されました。この段階で個体の存在が確認されたということは、調査以前に、放流の禁止されている、こうした外来魚を誰かが密かに沼に放流したと考えられます。

特に危険な外来魚は、雑食性のブルーギルです。ブルーギルは水生昆虫などを捕食してしまつので、生態系を破壊してしまふ恐れがあります。それと最近では、水質の変化にも気を配る必要があります。ここ数年、中野沼に流れ込む水路の水が汚れてきているのです。用水路にヘドロが堆積し、アオコが発生。ア

オコは、水質悪化の原因をつくります。

尊ぶべき価値と次世代への責務

中野沼に現存する貴重種の数は東毛池沼随一です。しかし沼の本当の価値は、名も知れない多数の地味な在来種の現存にあるのです。

中野沼生まれの普通の生き物が織り成す、地域特有の生態系を基盤にして、その構成員としてマミズクラゲや、ムネカクトビケラなどが生き生きと生存していることが、まさに尊ぶべき価値なのです。

豊富な自然環境が、まだ私たちのごく身近にあることを再認識してほしいと思えます。在来生物を守るということは、豊かな生態系を守ることにつながります。地域特有の生態系を次の世代の子どもたちへ引き継いでいくことこそ、私たちの責務であると思えてなりません。

今、沼は水生生物にとって楽園なのか?

野釣りを禁止したことによって、これで西沼は守られると関係者はほっと一安心。しかし、事はそう簡単にはいきませんでした。

というのもブラックバス(オオクチバス)やブルーギルといった外来魚により、中野沼の水生生物が食べ尽くされてしまつたのではなにかとの新たな不安材料が、生まれたのです。

さらに、バス釣り(ブラックバスを釣ること)ブームが到来し、愛好者の人口が増加したことから、こともあろうに西沼でのバス釣りが増加してきたのです。

町教育委員会生涯学習課の話によると、今年に入って、西沼でのバス釣り目撃の通報が、数十件も寄せられているといいます。東沼で釣りができるのに、なぜ禁止区域の西沼で釣りをするのか。この外来魚から水生生物を守るという課題と、西沼でのバス釣りの増加が今、中野沼の抱える最大の問題となっています。



ブラックバス (オオクチバス)
北アメリカが原産。全長で約5cmの稚魚期を過ぎると、生きた魚やエビ類を選択的に食べるようになります。特定外来生物に指定。

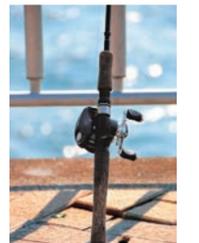
ブルーギル
北アメリカが原産。繁殖力が強く、雑食性であり、昆虫類、植物、魚類、貝類、動物プランクトンなど、何でも餌とします。特定外来生物に指定。

沼のギャングたち

中野沼に、ある日突然現われた「特定外来魚」
●特定外来魚とは… もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものを特定外来生物として「外来生物法」という法律で指定。飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入などを原則禁止しています。特定外来生物の魚類に分類されているうち、第1次指定されているのが、ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)とブルーギルなのです。これらの魚は、強い引きやルアーフィッシングの楽しさから人気が高まり、各地で意図的に放流された可能性が高い。

釣り人たちの言い分

西沼は釣り禁止区域になっているにもかかわらず、バス釣りが後を絶ちません。そこには釣り人の考え方の違い、沼を訪れる人のモラルの問題があったのです。



釣り禁止区域の西沼でなぜ、バス釣りが増加？

バス釣りの人たち（バサー）は、釣りのできる東沼ではなく、なぜ釣り禁止区域の西沼で、釣りをするのでしょうか…。

あるバサーの人に話を聞いてみたところ、「ヘラブナ釣りをする人（通称ヘラ師）たちが勝手にヘラ台（釣りをするための台）まで作って東沼を占拠している。釣り場がないから西沼で釣りをしている。役場は我々より先に、東沼を占拠中のヘラ師から注意するべきだ」とヘラ師への批判と、役場への批判を口にしていました。

では、本当にヘラ師の皆さんのせいで、バス釣りの人は東沼でバス釣りができないのでしょうか。ヘラブナ釣りに訪れていた人に話を聞いてみました。

「来た者順に釣っているよ。それに西沼なんかで、ヘラブナ釣りをしていた人を見つけたら、注意するよ。俺たちは」といいます。お互い注意し合いながら、釣りを楽しんでいるというのです。



東沼には町内の人はもちろん、町外からの釣り人も少なくありません。取材中、声を掛けさせていただいた釣り人は足利市の人でした。その人のお話では、「足利市には釣り場がないので、邑楽町の西沼に釣りに来ています。足利市から近く、しかも無料なので絶好の釣り場」ということでした。確かに東沼にはヘラブナ釣りの人が多かったです。しかし、取材したその日（午後の時間帯）釣り場は空いていて、バス釣りの人も釣りを楽しんでいました。

うです。

東沼で釣りができないから西沼でバス釣りをするのか

東沼でヘラブナ釣りをしている人は年配の人が多く、よくよく話を聞いてみると、定年を迎え、釣りを生きがいにしている人がほとんどだそうです。年配の人は基本的に朝が早い、だから釣り場に来るのも早いわけです。一方、バサーの人は若者がほとんど。東沼に来る頃には、もうヘラ師の皆さんが釣り糸を垂らしているのです。

生活スタイルと、釣りの年季の違いはありますが、後からきたら一言挨拶して、釣り場に入れさせてもらうことはできないのでしょうか。

一方で取材中の午後、東沼が空いているにも関わらず、西沼でバス釣りをしている人がいました。ひよつとしたら、バサーの中には釣り場の東沼より、釣り禁止の西沼にブラックバスが多くいるというイメージがあって、その誘惑に勝てず、バス釣りをしている人も

いるのではないのでしょうか。

中野沼は本当によい釣り場 マナーを守って楽しく釣りをした方が絶対いいですよ

●太田市から中野沼に釣りに来る 飯塚優次さん (釣り歴20年)



インターネットで、釣りができる場所を調べているうちに、中野沼のことを知りました。釣りが無料でできるのは中野沼くらいです。しかもこんなに水質がよいのは驚きです。この辺でも他にはないですよ。

私は、餌釣りをしますが、何とんでも魚がかかったときの引きと、魚が餌に食いつくのを待っている間のわくわく感が最高です。

実感なのですが、中野沼はブルーギルがかかることが多く、やっぱり外来魚も多いと思います。それと釣り禁止区域の西沼で、バス釣りをしている人を見かけます。心から釣りを楽しむためにも、その釣り場のルールはしっかり守った方がいいと思います。さらに、たばこのポイ捨てをする人も見かけます。やっぱり見ていてかっこよくないですね。釣りをしない人から見れば、釣り人の印象が悪くなるのも当然だと思います。



↑不法投棄されたごみ
ごみの不法投棄は環境の悪化を招きます。いったいこんな大きなものを、誰が捨てたのでしょうか。



←たばこの吸い殻も、ここで釣りをしていた人が捨てたとしたら、釣りをする以前に人としてのマナーの問題になります。

●取材を終えて 中野沼から見えた課題と水生生物を守る本当の意味

邑楽町の片隅にある中野沼。水中に目を向けると、ミミズクラゲ、ムネカクトビケラ（県の絶滅危惧種に指定）などを始めとした多くの水生生物が、人知れずその営みを続けています。

はるか昔から脈々と生き続けてきた、それら地味な生物たちは、現在の私たちが考えているよりも、はるかに貴重な存在といえるかもしれません。なぜなら、そうした生物たちが、生きられる土壌があるということは、故郷の自然豊かな原風景が、この小さな沼に

今なお残っている証につながるからです。ミミズクラゲなどの水生生物たちは、水質や環境が極めて良好といえなくては、生きられないのです。

しかし、その地域特有の生態系を根本から変えてしまふ、ブラックバス（オオクチバス）やブルーギルなどの特定外来魚の増加には、警鐘を鳴らさなくてははいけません。このまま放置して未来の子どもたちに、故郷の自然を残していかなくていいのでしょうか。

自然を守っていくのも人間の手、それを破壊へと導くのも人間の手。西沼を釣り禁止区域に指定したのも人間の手、そのルールを破るのも人間の手によるものなの

です。 今回の特集では、中野沼の水生生物と釣り禁止区域でのバス釣りの増加という二大テーマに迫りました。水生生物の重要性は自明の理ですが、釣りを生きがいにしている人たちが環境が良くて、しかも無料の釣り場として中野沼を選んだ気持ちも確かに分かります。しかし、自分の好きなことなら、何をやっても良いという理由にはなりません。

「釣り禁止」という誰の目で見ても分かる看板が、そこかしこにある西沼。その前で釣りをしている大人を子どもたちが見掛けて注意してきたら、その人はいったいどう説明するのでしょうか…。

ヘラが釣れるところには当然バスもいるよ

●20年以上も中野沼に足しげく通うベテラン釣り師

ヘラ師のAさん (釣り歴50年以上)



中野沼は釣り場としてはいい方だよ。ヘラブナやマブナ、コイなんか釣れる。定年を迎えて釣りは生きがいだね。早いときで朝の4時頃から、ここに来て釣り糸を垂らしてよ。バス釣りの連中とトラブルになったという話は聞いたことないね。最近、沼の水質は悪くなってきたような気はするけどね。

外来魚駆除作戦

中野沼の現状や外来魚問題を多くの皆さんに知ってもらうために開催します。

釣り禁止区域の中野沼の西沼で、外来魚駆除のため一日限りの釣りを解禁。外来魚の捕獲量（重さ・大きさ）によって、賞品が出ます。

- ▶期日 10月12日(日)
- ▶時間 午前8時30分～正午 (受付時間午前8時～8時30分)
- ▶会場 中野沼西沼 (集合場所中野沼公園管理棟前)
- ▶対象 どなたでも
- ▶参加費 100円 (保険代など)
- ※餌はミミズを予定しています。
- ▶持ち物 釣り竿など
- ※釣り餌、疑似餌(ぎじえ)のある人はご持参ください。
- ※釣り竿を貸し出しますので、必要な人は申し込みの際にお伝えください。(先着50人)
- ▶表彰 捕獲した総重量 上位5人 大物賞(1匹の大きさ)1人
- ▶申込方法 電話で申し込む
- ▶申込締切 9月30日(月)
- ▶申込・問合せ 生涯学習課 ☎47-5043
- ※当日お手伝いいただける人(外来魚駆除作戦実行委員)も募集しています。お申し込みは、生涯学習課まで。皆さんのご参加お待ちしております。

自然環境ボランティア(仮称)募集

中野沼などの自然環境を保全保護するために、ご協力いただけるボランティアを募集します。

- ▶期間 平成27年3月31日まで
- ▶定員 10人
- ▶対象 自然環境保護に関心のある人
- ▶仕事内容 釣り禁止区域での監視パトロールや不法投棄などの監視パトロールなど
- ▶申込締切 10月31日(木)
- ▶申込・問合せ 生涯学習課 ☎47-5043